

教材教具名 数の学習

教科(数学)

教材教具写真



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 1～10までの数量を理解する。数字と具体物の数が一致する。
- 2 発達段階 10までの数の概念を育てる。
- 3 使い方
表面の数字を読んで(見て)、提示された数だけ洗濯ばさみを取り出す。裏面のドット(シール)に洗濯ばさみをはさんで、正確に取り出せたか確認する。違っていれば、ドットか洗濯ばさみが余るので、正確に取り出せていないことが視覚的に分かる。生徒の理解力に応じて、数字の提示を変える。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

数学の「数の学習」の中で、取り組んだ。始めは3～4程度までしか正確に取り出せなかった生徒が、繰り返すうちに正確に数える(取り出せる)数が増えてきた。また手指の力が弱い生徒がおり、自立活動のねらいも組み入れている。数が数えられる(理解)できてくると、具体物としておはじきやお金なども使用している。